

ご意見箱にいただいた投書より

- 忘れ物や落し物をした場合は、どこへ尋ねればよいですか？
→ 忘れ物や落し物は、時間外入口前の守衛室でお預かりをしています。
- 病棟の朝食のご飯が硬いです。もう少し柔らかいご飯が良いです。
→ 普通のご飯と軟らかく炊いた軟飯の2種類を用意しております。病棟のスタッフにお声かけください。
- 清掃スタッフが大きな音を出しながら掃除をするので、
気をつけてほしいです。
→ ご迷惑をお掛けいたしました。今後、注意をいたします。

ご意見箱は、1階玄関前・売店前、各病棟のデイコーナーに設置してあります。お気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください。



院内コンサートを開催しました

患者さまやご家族に心あたたまる時間を過ごしていただくため、1月30日（水）に院内コンサートを開催しました。

今回は、「心の歌・ふれあいコンサート」と題し、稲沢市出身でオペラ歌手の石原まりあさんを招き、ピアノの百瀬愛莉さんとともに、童謡や「涙そうそう」、「川の流れるように」などの歌謡曲、オペラの楽曲など全9曲を披露しました。

会場には、入院している患者さまのほかに、コンサートを聴くために来院された一般のかたなど約50名が集まり、石原さんの迫力ある伸びやかな歌声にうっとり聞き入っていました。

当院では、今後もみなさまに喜んでいただける催しを企画してまいります。



市民病院ニュース 第44号

発行日：平成31年3月1日

発行部数：300部

発行元：稲沢市民病院広報委員会

電話：0587-32-2111 FAX：0587-32-2151

E-mail：hospital@city.inazawa.aichi.jp



市民病院ニュース

2019.3.1 第44号

老年内科の常勤医が赴任します

稲沢市民病院では、4月1日から常勤医が赴任いたします。

◆老年内科とは...

高齢のかたのさまざまな身体の悩みや介護上の問題などを幅広く、総合的に診療する内科です。

人は高齢になると、からだのふらつきやもの忘れといった老いによる症状なのか、病気による症状なのかがはっきりしないからだの不調が現れます。生活習慣病のような慢性的な病気をいくつも併せ持つようになる場合もあります。

老年内科は、ひとつひとつの病気の治療だけを目的とするのではなく、高齢のかたに特有な病気の症状を十分に理解し、ひとつの病気の症状だけにとらわれず、患者さんの生活の質をより良く保つための支援をさせていただく診療科になります。

◆こんなときはご相談ください

- ・もの忘れで困っている
- ・いろいろな生活習慣病に対して、総合的な治療を受けたい
- ・年齢のためと思われる身体の不調がある。
- ・いくつかの病気が重なっていて、どの科を受診したらよいかが分からない。
- ・病気だけでなく、療養や介護、リハビリについても相談したい。



◆担当医師



○認定資格

- 医学博士
- 日本内科学会認定内科医・
総合内科専門医・
臨床研修指導医
- 日本老年医学会認定老年病専門医・
指導医
- 日本認知症学会専門医・指導医

老年内科部長 廣瀬 貴久

◆受診するには

何らかの病気でかかりつけの医院を受診されている場合は、主治医の先生と相談して、老年内科を受診をされる際に紹介状をお持ちください（紹介状は総合受付へ提出してください）。

もの忘れの症状で受診される場合は、患者さまと生活をされているご家族のかたも一緒にご来院ください。

診察予約なしで直接来院されると、待ち時間が長くなる場合があります。

紹介状がなく、当院を初めて受診される場合は、初診時保険外併用療養費（1,080円）が必要です。

はだか祭 患者受入

2月17日（日）に国府宮神社で“はだか祭”が開催されました。当院でも、搬送される救急患者に対応するため、医師、看護師ら職員約100名体制で患者受入れの準備をしました。

正午過ぎから救急車が到着し、はだか祭がクライマックスを迎える午後5時前後になると、患者さまが多数運びこまれて院内があわただしくなりました。

天候に恵まれたこともあり、当院に搬送された患者さまは例年よりも少なく、急性アルコール中毒15名、外傷4名でした。午後6時30分頃になると、院内も落ち着きを取り戻しました。

